

(様式 2-1, 2-2 はそのまま PDF 化し, 学内限定で公開します)

令和 4 年度三重大学国際交流事業実施報告書 (学内版)

1. 申請部局

学部・研究科名等: 国際交流センター

事業担当者の職・氏名: 准教授・松岡知津子

内線電話番号: 9098

電子メール: chizkom@cie.mie-u.ac.jp

2. 事業の名称 (20 字以内, 別に副題を付けても良い)

三重大学海外フィールドスタディ 2022

3. 事業内容の別 (該当するところにチェックを入れてください。)

教職員, 学生の海外派遣 (学会やシンポジウム等の出席は除く)

海外交流機関等からの教職員, 学生の受け入れ

国際教育プログラムの開発や推進

その他

4. 事業の取組結果

(1) 事業概要 (簡潔に事業全体の概要がわかるように記述してください)

教養教育科目「海外フィールド研修(2単位)」では、前半7コマを座学による講義及び演習、後半8コマを現地(今年度はベトナム)でのフィールド研修としている。令和4年度は、三重大学生16名が引率教員2名とともに協定大学であるホーチミン市師範大学を訪問し、三重大学生とホーチミン市師範大学生が協働してフィールドテーマに取り組む「三重大学フィールドスタディ」を実施した。

(2) 事業の背景・これまでの実績

これまで10年以上にわたり、本学の学生を1週間程度ホーチミン市師範大学に派遣し、学生同士が協働してリサーチテーマに取り組む「三重大学ベトナムフィールドスタディ」を実施してきた。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和元年度は中止せざるを得なかったが、令和2年度および令和3年度は一部のプログラム内容を変更してオンラインでの交流を行ってきた。今年度から、本事業を教養教育科目の授業としてプログラムのさらなる充実を目指した。

(3) 事業実施結果

本事業は以下のような日程で行われた。

<海外フィールドスタディ日程>

1日目	午前:中部国際空港→タンソンニャット空港 午後:オリエンテーション
2日目	午前:開講式、フィールド調査 午後:フィールド調査
3日目	午前:フィールド調査 午後:ベトナム語学習、三重紹介①
4日目	午前:フィールド調査 午後:フィールド調査
5日目	午前:フィールド調査 午後:日本語及びベトナム語学習、三重紹介②
6日目	午前:フィールド調査 午後:高校見学、日本語学校見学
7日目	午前:APC大学訪問 午後:戦争証跡博物館および統一会堂見学
8日目	メコンデルタ地域見学
9日目	午前:発表会、修了式 午後:タンソンニャット空港→ノイバイ空港
10日目	午前:ノイバイ空港→中部国際空港、解散

学生は、「食品・化粧品」「農業」「教育」「環境」「文化・習慣」の5グループに分かれてベトナム人学生と協働して調査を行ったり、「津・大学生活」「VISION」「熊野」「伊勢」について紹介したりするなど、有意義な交流を行った。参加学生からは「自分の視野が広がる経験をすることができた。」「“おいしい”を共有することは国関係なく心をつなぐ一番の架け橋になることを感じた1週間だった。」「日本語を教える側の立場になってみると、改めて日本語の面白さと難しさを感じた。」といった感想が寄せられた。



ホーチミン市師範大学の学生に
三重県について紹介する様子

(4) 事業の意義

両大学の学生が協働して課題に取り組むことにより、お互いの考え方の違いや文化の違いを体験し、共有しあうことで相互理解を図る。また、本事業への参加により、異文化理解が促進され、海外留学等への動機を高めることにつながる。

(5) 事業の発展性

今後も、教養教育科目「海外フィールド研修」として継続して本事業を行っていく。これまではベトナムのみで行ってきたが、今後は韓国の協定大学とも交流を行ってきたい。

(6) 中期目標・中期計画における位置づけ

・学生の海外留学への意欲を維持するため、きめ細やかな留学相談を行うほか、オンラインによる海外機関実施の短期研修や国際交流イベント等の情報を積極的に提供する。また、交換留学を希望しながら入国制限により渡日できない協定大学学生を対象にオンラインによる日本語教育プログラム等を提供し日本への留学の魅力等を発信する。複数学位や接続学位プログラム等の国際共同教育プログラムや本学独自の「三重大学外国人留学生特待生（入学料及び授業料免除型）制度」の第3期の取組及び成果を総括し、第4期中期目標・計画に反映させる。

(7) その他

(様式 2-3 はウェブ公開しません)

5. 事業に係る経費執行結果

事業費		事業費の内訳	
		助成金額	自己負担額
① + ② 300 (千円)		① 300 (千円)	② 0 (千円)
経費区分	金額 (千円)	積算内訳	
1) 旅費	165	学生旅費 (60千×1) 教員日当 (47千×2) 現地借り上げバス (58千) (助成分165千)	
2) 消耗品	100.4	書籍、書道具等 (助成分100.4千)	
3) 役務	3.6	ベトナム語講義 (助成分3.6千)	
4) 謝金	31	現地コーディネーター謝金 (助成分31千)	
合計	助成分 300千円		

令和4年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：日本語版）

三重大学では、これまで10年以上にわたり、教員引率の下、協定大学であるベトナムのホーチミン市師範大学に学生を派遣し現地の学生と交流を行ってきた。本プログラムの目的は、「協定大学であるホーチミン市師範大学での授業や学生交流、フィールドスタディの経験を通して、グローバルな視点や国際感覚を持ちながら主体的に行動し、参加メンバーと協力しながら活動を進め、また異文化にあって積極的にコミュニケーションを図ろうとするグローバル人材に求められる能力・資質を育成する」であり、特に全ての活動がホーチミン市師範大学の学生とともに国際共修を特徴としてきた。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2019年度は交流が実現しなかったが、2020年度及び2021年度はオンラインによる交流を続けてきた。2022年度は、4年ぶりにオンサイトによる派遣が実現することとなった。実施期間は2023年3月5日から14日までの10日間で、2名の引率教員の下、16名の三重大学生が参加した。

表1 海外フィールドスタディ日程

1日目	午前：中部国際空港→タンソンニャット空港 午後：オリエンテーション
2日目	午前：開講式、フィールド調査 午後：フィールド調査
3日目	午前：フィールド調査 午後：ベトナム語学習、三重紹介①
4日目	午前：フィールド調査 午後：フィールド調査
5日目	午前：フィールド調査 午後：日本語及びベトナム語学習、三重紹介②
6日目	午前：フィールド調査 午後：高校見学、日本語学校見学
7日目	午前：APC 大学訪問 午後：戦争証跡博物館および統一会堂見学
8日目	メコンデルタ地域見学
9日目	午前：発表会、修了式 午後：タンソンニャット空港→ノイバイ空港
10日目	午前：ノイバイ空港→中部国際空港、解散

学生は、「食品・化粧品」「農業」「教育」「環境」「文化・習慣」の5グループに分かれてベトナム人学生と協働して調査を行ったり、「津・大学生生活」「VISION」「熊野」「伊勢」について紹介したりするなど、有意義な交流を行った。参加学生からは「自分の視野が広がる経験をする事ができた。」「“おいしい”を共有することは国関係なく心をつなぐ一番の架け橋になることを感じた1週間だった。」「日本語を教える側の立場になってみると、改めて日本語の面白さと難しさを感じた。」といった感想が寄せられた。



ホーチミン市師範大学の学生に三重県について紹介する様子

令和 4 年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：英語版）

For more than 10 years, Mie University has sent students to Ho Chi Minh City University of Education (HCMUE) in Vietnam, a partner university, to interact with students. The purpose of this program is to "act independently with a global perspective and international sense through classes, student exchanges, field studies, and homestay experiences at our partner university, HCMUE, and to cooperate with participating members. While promoting activities, developing the abilities and qualities required for global human resources who are willing to promote activities and actively communicate in different cultures." Due to the spread of the Covid-19 infection, the program had to be cancelled in 2019, but we decided to implement the online exchange program in 2020 and 2021. After 4 years, 16 students and 2 supervisor teachers were able to visit MCMUE. All students participated for 10 days, from March 5th to 14th, 2023, and before that, Mie University students learned Vietnamese language and Vietnamese affairs, and did some preliminary research on the topic of the field research.

Program Schedule

Day1	AM:NGO Airport → SGN Airport PM: Orientation
Day2	AM: Opening ceremony, Field research PM: Field research
Day3	AM :Field research PM: Introduction of Vietnamese and Japanese culture①
Day4	AM: Field research PM: Field research
Day5	AM: Field research PM: Introduction of Japanese culture②
Day6	AM: Field research PM: Visit to a Highschool and Japanese language institute
Day7	AM: Visit to APC university PM: Visit to the War Remnants Museum and Independence Palace
Day8	Visit to the Mekong Delta region
Day9	AM: Final presentation and closing ceremony PM:SGN Airport → HAN Airport
Day10	AM: HAN Airport → NGO Airport

There were positive reactions from students such as "I was able to have an experience that broadened my horizons", "During the program, I felt that sharing "deliciousness" is the best bridge to connect hearts regardless of country.", "While teaching Japanese, I realized how fun and difficult teaching Japanese is."



Mie University students introducing
Mie Prefecture to HCMUE students